



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月5日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東  
 コード番号 4680 URL https://www.round1.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 06-6647-6600  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,630	△78.0	△11,050	—	△11,052	—	△8,559	—
2020年3月期第1四半期	25,554	14.1	2,360	96.8	2,341	106.6	1,441	84.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △8,741百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 862百万円 (△34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△95.67	—
2020年3月期第1四半期	15.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	130,761	50,466	38.4	566.67
2020年3月期	135,839	65,141	47.8	681.91

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 50,264百万円 2020年3月期 64,958百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

当社グループは日本国内及び米国において、総合アミューズメント事業を展開しておりますが、2020年4月以降新型コロナウイルス感染症の感染者の急増に伴うお客様及び従業員の感染リスク等を勘案し、5月下旬まで全店舗を臨時休業としておりました。2021年3月期の連結業績予想は、現時点で合理的に算出することが困難であるため、記載いたしておりません。当該連結業績予想については、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

なお、現時点での将来の業績を予想するために、有用と思われる情報を、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	95,452,914株	2020年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	6,751,915株	2020年3月期	193,415株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	89,473,595株	2020年3月期1Q	95,261,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、企業活動の制限や外出自粛要請により個人消費の落ち込みを背景に経済が停滞する等、極めて厳しい状況で推移いたしました。

他方、世界経済においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う都市封鎖等により大幅に景気が減速し、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは日本国内においては、2020年4月上旬より国内全103店舗を臨時休業といたしました。緊急事態宣言の解除に伴う休業要請の緩和を受け、同年6月上旬より国内全103店舗において、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、営業を再開いたしました。

米国においては、2020年3月中旬より米国全41店舗にて臨時休業といたしました。5月中旬より、各州政府・郡からの要請緩和に伴い、一部店舗にて営業を再開いたしました。営業時間の短縮や部分的な営業の制限等を受けました。

また、新型コロナウイルス感染症が当社グループに与える影響の長期化に備え、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築を図るため、金融機関より長期借入金による資金調達及びコミットメントライン契約を締結いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間末において十分な運転資金を確保しており、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に対応できる体制を整えております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,630百万円(前年同四半期比78.0%減)、営業損失11,050百万円(前年同四半期は営業利益2,360百万円)、経常損失11,052百万円(前年同四半期は経常利益2,341百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8,559百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,441百万円)となりました。

なお、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で業績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (日本)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年4月上旬より国内全103店舗を臨時休業といたしました。また、新型コロナウイルス感染防止対策としてボウリングやカラオケ等の備品、及び館内施設の定期的なアルコール消毒、抗菌・抗ウイルスコート加工の実施等の対策を行い、同年5月中旬より一部店舗を再開し、同年6月上旬に国内全店舗にて営業を再開いたしました。営業時間の短縮や一部営業エリアの制限等を行いました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比75.9%減、アミューズメントは前年同71.1%減、カラオケは前年同80.6%減、スポッチャは前年同85.1%減となりました。

#### (米国)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年3月中旬より米国全41店舗を臨時休業といたしました。当第1四半期連結会計期間末において、主に中部地区から東部地区にかけての20店舗を営業再開いたしました。各州政府・郡からの規制により営業時間の短縮や部分的な営業の制限等の影響を受けました。主に西部地区を含む21店舗は引き続き臨時休業といたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比95.7%減、アミューズメントは前年同89.5%減、カラオケは前年同97.4%減となりました。

#### (その他)

その他セグメントにおいては、日本・米国以外の地域に出店準備を進めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5,077百万円減少の130,761百万円となりました。この要因は、現金及び預金が7,619百万円減少、未収入金が557百万円減少、売掛金が520百万円減少したこと等による流動資産の減少8,411百万円と、繰延税金資産が2,542百万円増加、建設仮勘定が1,215百万円増加、使用権資産(純額)が1,179百万円増加、建物及び構築物(純額)が961百万円減少したこと等による固定資産の増加3,333百万円によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,597百万円増加の80,295百万円となりました。この要因は、短期借入金が増加した2,631百万円増加、未払消費税等が898百万円減少、未払法人税等が897百万円減少、未払金が689百万円減少、設備未払金が637百万円減少したこと等による流動負債の減少447百万円、長期借入金が増加した10,048百万円増加、リース債務が737百万円増加、社債が583百万円減少したこと等による固定負債の増加10,044百万円によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,674百万円減少の50,466百万円となりました。この要因は、自己株式が5,000百万円増加、為替換算調整勘定が181百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純損失8,559百万円の計上により利益剰余金が9,512百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.4%(前連結会計年度末は47.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、店舗の臨時休業や海外における出店活動の遅延など、国内外において様々な影響が見込まれております。そのため、現段階ではその影響額について合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の連結業績予想については、記載いたしていません。今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,515	26,895
売掛金	971	451
商品	414	412
貯蔵品	2,194	2,394
その他	4,134	3,665
流動資産合計	42,230	33,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,289	82,124
減価償却累計額	△40,780	△41,578
建物及び構築物(純額)	41,508	40,546
土地	5,736	5,736
リース資産	29,711	31,009
減価償却累計額	△11,874	△13,508
リース資産(純額)	17,837	17,500
その他	36,332	39,272
減価償却累計額	△21,059	△21,793
その他(純額)	15,273	17,479
有形固定資産合計	80,355	81,263
無形固定資産		
投資その他の資産	737	698
繰延税金資産	3,368	5,911
差入保証金	8,802	8,759
その他	343	309
投資その他の資産合計	12,515	14,980
固定資産合計	93,608	96,942
資産合計	135,839	130,761

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	204	140
短期借入金	1,561	4,192
1年内償還予定の社債	1,167	1,167
1年内返済予定の長期借入金	6,398	6,677
リース債務	8,533	8,601
未払法人税等	997	99
その他	9,114	6,650
流動負債合計	27,977	27,530
固定負債		
社債	2,507	1,923
長期借入金	15,776	25,825
リース債務	9,697	10,434
資産除去債務	6,105	6,065
その他	8,633	8,515
固定負債合計	42,720	52,764
負債合計	70,697	80,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	17,657	8,145
自己株式	△340	△5,340
株主資本合計	64,976	50,463
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	119	△61
その他の包括利益累計額合計	△18	△199
新株予約権	183	202
非支配株主持分	0	0
純資産合計	65,141	50,466
負債純資産合計	135,839	130,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	25,554	5,630
売上原価	22,391	15,995
売上総利益又は売上総損失(△)	3,163	△10,364
販売費及び一般管理費	802	685
営業利益又は営業損失(△)	2,360	△11,050
営業外収益		
受取利息	2	1
補助金収入	11	103
その他	100	73
営業外収益合計	115	178
営業外費用		
支払利息	124	153
持分法による投資損失	—	23
その他	10	3
営業外費用合計	134	180
経常利益又は経常損失(△)	2,341	△11,052
特別損失		
固定資産除却損	247	16
特別損失合計	247	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,094	△11,069
法人税、住民税及び事業税	191	32
法人税等調整額	461	△2,542
法人税等合計	652	△2,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,441	△8,559
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,441	△8,559

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,441	△8,559
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△579	△181
その他の包括利益合計	△579	△181
四半期包括利益	862	△8,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	862	△8,741
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,558,200株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が5,000百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式が5,340百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	20,702	4,851	25,554	25,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,702	4,851	25,554	25,554
セグメント利益	2,102	238	2,341	2,341

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結財務諸表計上金額
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,237	392	5,630	—	5,630
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,237	392	5,630	—	5,630
セグメント損失(△)	△8,192	△2,748	△10,940	△112	△11,052

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc.)を除く海外現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と一致しております。